

シラバスの基本方針

シラバスとは

各授業科目の詳細な授業計画。一般に、大学の授業名、担当教員名、講義目的、各回ごとの授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるもの。また、学生が講義の履修を決める際の資料になるとともに、教員相互の授業内容の調整、学生による授業評価等にも使われる。

(出典：中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」(答申)2008年12月)

シラバスの記載項目

シラバスは大きく科目基本情報と科目詳細情報に分かれており、記入する項目は以下の通りです。

■科目基本情報

科目名	教育課程に位置づけられた科目名
科目コード	科目ごとに一意となるコード
授業時数/週	週当たりの授業時数(コマ数)
年次・学期	授業を実施する学年及び学期
必修/選択区分	必修・選択必修・自由選択の区分
授業形態	主たる授業実施形態(講義・演習・実習・実技の別)
担当教員	授業を担当する全教員名
教員の実務経験	実務経験のある教員等による授業科目に該当するか否かの区分
職業実践専門課程	職業実践専門課程における企業等と連携した実習・演習に該当するか否かの区分
連携企業等	前項に該当する場合の連携先企業等
備考	科目基本情報に関する備考

■科目詳細情報

授業概要	授業科目の概要
到達目標	学修成果として目指す目標
授業方法	授業の実施方法
実践的教育の内容	実務経験のある教員等による授業科目に該当する場合の具体的教育内容
成績評価方法	成績評価の実施方法と評価内訳
授業外における学修	授業時間以外の学修指示
教科書・教材	授業で使用する教科書・教材
参考文献・資料	参考文献や参考資料
履修上の留意点	履修に当たっての留意事項
授業計画	半期(前期・後期)または通期の週ごとの授業内容

各項目の記入方法

各項目については以下の記入方法に従って、学生の目線に立って分かり易く記入してください。

■ 科目基本情報

科目名

教育課程（学則別表1）に規定されている登録済みの科目名を記入してください。

科目コード

記入不要です

授業時数/週

一週間あたりの授業時数（コマ数）を半角数字で記入してください。

年次・学期

授業を実施する学年を半角数字で入力、学期（前期・後期・通期）をドロップダウンリストから選択し「表示」ボタンをクリックしてください。（授業計画欄が学期に応じた表示になります。）

必修/選択区分

必修・選択必修・自由選択のいずれかをドロップダウンリストから選択してください。

授業形態

主たる授業実施形態をドロップダウンリストから選択してください。

担当教員

授業を担当する教員名全員（専任・常勤・非常勤）をフルネームで記入してください。（複数の場合は間を全角カンマ“,”で区切ってください。）

連携する企業等の役職員で、直接授業を担当しない関係者は除きます。

教員の実務経験

当該授業科目に関連する実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実践的授業を行う場合、ドロップダウンリストから「実務経験のある教員による授業科目」を選択してください。該当しない場合は空欄としてください。

※実務経験のある教員による授業科目について

以下のいずれかに該当するものを「実務経験のある教員による授業科目」とします。

- ・担当教員すべてが当該授業科目に関連する実務経験を持ち、その実務経験を活かして実践的授業を実施する場合
- ・実務経験を持つ担当教員とそれ以外の教員が連携し、実務経験から得た知見を共有して実践的授業を設計し、すべての学生に対して等しく実践的授業を実施する場合
- ・開講年度において、次項、職業実践専門課程における「企業等と連携した実習・演習科目」として位置付けられており、企業等の役職員が直接授業を担当している場合

職業実践専門課程

授業を実施する学科が職業実践専門課程として認定されていて、かつ開講年度において当該科目が企業等と連携した実習・演習科目として位置付けられている場合、ドロップダウンリストから「企業等と連携した実習・演習科目」を選択してください。該当しない場合は空欄としてください。

連携企業等

連携する企業等の名称（職業実践専門課程の別紙様式4記載の企業等の名称）を記入してください。該当科目以外は空欄としてください。

備考

科目基本情報に関する注記があれば記入してください。ない場合は空欄としてください。

■科目詳細情報

授業概要

授業の概要について記入してください。学生便覧及び職業実践専門課程の別紙様式4（認定学科の場合）と同一の内容にしてください。

<全角80～120文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

到達目標

当該授業科目の到達目標を、履修することによる学修成果として「何が出来るようになるか」の視点で到達目標を記入してください。当該授業科目のディプロマポリシーとして、履修認定に係るものです。分かり易く箇条書きで一つ以上記入してください。

<全角80～120文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

授業方法

講義、視聴、見学、実習、演習、発表、グループ学習、反転授業、アクティブラーニング、フィールドワーク、レポート、その他の方法をどのように組み合わせるかを授業を展開するかについて記入してください。

<全角30～80文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

実践的教育の内容

科目基本情報で「実務経験のある教員等による授業科目」とした科目について、当該授業科目に関連したどのような実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かしてどのような実践的教育を行っているか、あるいは企業等とどのように連携して実践的教育を行っているかについて具体的にその内容を記入してください。「実務経験のある教員等による授業科目」に該当しない場合は空欄としてください。<全角80～120文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

評価方法

評価方法（筆記試験・実技試験・課題評価など）と配点割合（合計100%となること）について記入してください。筆記試験以外の評価方法については、評価の客観的な指標についても具体的に分かり易く記入してください。

<全角30～80文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

授業外における学修

予習・復習、その他授業時間以外の自己学修についての指示があれば記入してください。特にない場合は「特になし」としてください。

<全角30～80文字程度（句読点含む、英数字は半角）>

教科書・教材

授業で使用する教科書・教材等について記入してください。使用しない場合は「なし」と記入してください。

参考文献・資料

授業の参考文献や参考資料があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

履修上の留意点

履修に当たっての留意点があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

授業計画

授業計画の授業週数は、半期(前期及び後期)17週、通期(年間)34週となっていますので、各週の授業計画について2行で記入してください。

1行目は各週の授業テーマを簡潔に、2行目はその内容を40文字以内で記入してください。

同一テーマの授業が複数週連続して実施される場合は、テーマの末尾に・・・(1)、・・・(2)のように番号を付記し、2行目の内容はその週に扱うキーワード等を用いて違いが分かるように記入してください。

シラバス記入例

科目シラバス（2023年度）

■科目基本情報

科目名	プログラミングⅢ	科目コード	
授業時数/週	5 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 前期
必修/選択区分	必修	授業形態	実習
担当教員	神戸太郎, 神戸花子		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習科目	連携企業等	神戸エンジニアリング株式会社
備考			

■科目詳細情報

授業概要	Python言語の基本となる対話型実行と入出力、演算子、データ構造のプログラム作成による実行、制御構造や関数等を学び、基本的プログラムを作成できるようにする。Java言語基礎となる文法やオブジェクト指向を基礎としたプログラミングを学習する。											
到達目標	Pythonの基本的な文法を理解し、Pythonの特徴を生かした基本的なプログラムが作成できるようになる。また、Javaを用いた基本的なオブジェクト指向を意識したプログラム作成ができる技術を身につける。											
授業方法	文法事項を講義で確認した後、例題解説を理解したうえで、課題のプログラミング実習を行う。											
実践的教育の内容	IT企業でのプログラム開発経験を持つ教員が、経験のあるプログラマーでも間違えやすい箇所など、学生が注意すべき点を実務的視点から教授することにより、より良いプログラム開発が行えるようにする。											
成績評価方法	筆記試験 定期試験	20%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	40%	課題評価	40%	平常評価	0%	合計	100%
	実技試験・課題評価において、主に提出されたプログラムにエラーがないか、実行確認において仕様に基づいた動作を行うか正確であるかを評価する。											
授業外における学修	特になし											
教科書・教材	プログラミングⅢ・Ⅳ課題問題集 神戸電子専門学校											
参考文献・資料	特になし											
履修上の留意点	特になし											
授業計画	第1週	Pythonの実行環境構築 Pythonを入手・インストールし、プログラムを実行できるようにする										
	第2週	Pythonでの入出力・演算子 入出力、演算子と有線獣医に関して学び、関連する課題を作成する										
	第3週	Pythonの組み込みデータ型と文字列 list, tuple, range, set, dict, strの操作方法を学び、関連する課題を作成する										
	第4週	Pythonの条件判断 if構文に関して学び、関連する課題を作成する										
	第5週	Pythonの繰り返し while, for構文に関して学び、関連する課題を作成する										
	第6週	Pythonの関数 関数の作成方法と変数のスコープ、パッケージの利用方法についてに関して学ぶ										
	第7週	Pythonの課題作成 Pythonで与えられた提出課題の作成を行う										
	第8週	Javaの実行環境構築 Javaを入手・インストールし、プログラムを実行できるようにする										
	第9週	言語の特徴 Java言語の特徴を学ぶ										
	第10週	入出力 Javaでのコンソールを使ったデータの入出力方法について学ぶ										
	第11週	演算子 Javaの演算子について学び、データの加工を行う										
	第12週	条件判断 Javaの条件判断の手法について学ぶ										
	第13週	繰り返し Javaの繰り返し手法について学ぶ										
	第14週	配列 Javaで複数のデータを扱う手法について学ぶ										
	第15週	グループ課題制作(1) 後期「制作実習」に向けて、グループで何を制作するか討議・発表準備を行う										
	第16週	グループ課題制作(2) 後期「制作実習」に向けて、グループで何を制作するか発表する										
	第17週	課題作成 指定されたプログラム課題の作成を行う										